

令和6年度優良図書等の推奨について

優良図書の推奨

推奨年月日：令和6年11月1日

題 名	アマゾンのふしぎな森へようこそ！ 先住民の声に耳をすませば
発 行 所	合同出版株式会社
著 者 等	南 研子
推 奨 理 由	<p>ブラジル・アマゾンの先住民と2000日以上を共に過ごした著者が、環境変化や文化の破壊等に対応しながら、伝統的な暮らしを未来につなぐ人々の姿をまとめたノンフィクション。アマゾンにおける現状、課題をはじめとして、世界の広さと環境問題について学ぶことができ、現地で暮らす人の生活を詳細かつ分かりやすく説明しています。</p> <p>SDGs が叫ばれる社会において、生きる力や社会参加の意欲を喚起する図書であり、時代が進歩しても決して忘れてはならないものがあると気付かせてくれる1冊。 (令和5年9月出版)</p>

題 名	おとうとのねじまきパン ずっとむかし、満州という国であったこと
発 行 所	合同出版株式会社
著 者 等	高橋うらら
推 奨 理 由	<p>丹念な取材により書き上げられた、幼少期に満州へ渡った少女の満州引き上げの記録。戦争は終わったのに、なぜ日本に帰れなかったのか、戦争が終わった時に中国にあった「満州国」ではどのような状況だったのか、といった教科書には書かれない歴史を学ぶことができる1冊。</p> <p>「満州国」を知らない子どもたちへ、その悲しい歴史や戦争の愚かさを分かりやすく、やさしく語りかけます。(令和6年4月出版)</p>

題 名	スマイルサッカー
発 行 所	合同出版株式会社
著 者 等	ミッチーコーチ、杉山 詩音
推 奨 理 由	<p>障害のある子もない子も、みんなでサッカーができる「スマイルサッカー教室」を題材に、社会の中の居場所づくりについて考えさせられる1冊。誰ひとり取り残さないサッカー教室のお話から、インクルーシブ教育へのヒントを得ることができます。</p> <p>共生や協調、多様性といった人間社会の在り方を知ることができる絵本で、子どもたちが共生社会を考えるきっかけとなる1冊。(令和6年4月出版)</p>

題 名	せんそうがおわるまで、あと2分
発 行 所	合同出版株式会社
著 者 等	(著) ジャック・ゴールドスティン (訳) 長友 恵子
推 奨 理 由	<p>同じ日に同じ村で生まれた幼なじみのエピソードをもとに作られた作品。徴兵された2人は、戦場でも変わらず支え合い、残り数時間後に戦争が終了するまでに至りますが、最後まで戦場に向かうことになってしまいます。</p> <p>戦争の悲惨さ、愚かさを、シンプルかつあたたかいタッチで分かりやすく伝えながら、「戦争と平和」というテーマについて、子どもたちに考えさせる1冊。 (令和5年4月出版)</p>

題 名	フツウと違う少数派のキミへ ニューロダイバーシティのすすめ
発 行 所	合同出版株式会社
著 者 等	鈴木 慶太
推 奨 理 由	<p>マイノリティの当事者を読者の対象と想定して、社会に適応するためのアドバイスを分かりやすく語りかける1冊。悩める10代に向けて、就労支援事業や放課後デイサービス事業を行う株式会社Kaizenが、この社会で自分らしく生きていくためのコツを、漫画や図解で伝えます。</p> <p>本書のキーワードは“ニューロダイバーシティ”。近年、一人ひとりの顔や声が違うように、それぞれの脳も異なることが分かっています。ニューロダイバーシティの考え方を解説した上で、特性に応じた対処法等を紹介しています。 (令和5年8月出版)</p>

推奨年月日：令和6年12月6日

題 名	てんじつき さわるえほん たのしいらくご① まんじゅうこわい
発 行 所	合同出版株式会社
著 者 等	一般社団法人落語ユニバーサルデザイン化推進協会
推 奨 理 由	<p>発案者の落語家・春風亭昇吉師匠が、盲学校で落語のボランティア公演を行った経験から、障害のあるなしにかかわらず、誰もが触って楽しめる絵本を作りたいと考え、制作された絵本。触図と点字がついていて、目の見えない子も見える子も、一緒にクイズを解きながら、落語の世界を体験できます。</p> <p>また、巻末にあるQRコードから3Dプリンター用の設計データをダウンロードし、絵本に登場するものの立体模型を作って触ることができるなど、より学びを深められる工夫が施されています。</p> <p>子どもたちに「想像力を発揮し、バリアを越えて楽しんでもほしい」という願いが詰まった1冊。(令和6年4月出版)</p>

題 名	犬がえらんだ人 捨て犬ドンとおじさんの命のものがたり
発 行 所	合同出版株式会社
著 者 等	今西 乃子
推 奨 理 由	<p>多くの動物たちを救ったマルコ・ブルーノさんと、愛犬ドンの本当にあった出会いをもとに作られたお話。</p> <p>ドンは飼い主にいじめられ、ご飯もろくに与えてもらえず、ついには家から離れた川原に捨てられてしまいます。川原で佇むドンを見つけたマルコおじさんは、ドンに近寄り、えさを与えて話しかけます。はじめは心を閉ざしていたドンでしたが、物語が進むにつれ、徐々にマルコおじさんに心を許していきます。</p> <p>子どもと大人と一緒に読むことで、命の大切さを考えるきっかけとなる1冊。(令和6年3月出版)</p>

題 名	世界でいちばんリクエストのおおいくつ屋さん
発 行 所	合同出版株式会社
著 者 等	十河 孝男、十河 ヒロ子
推 奨 理 由	<p>実話をもとにつくられた、共生社会を身近に考えられる絵本。物語の主人公で、元てぶくろ工場を営んでいた十河さんは、高齢者施設の園長をしている友人から「転びにくいくつ」をつくってほしいと頼まれ、初めてのくつ作りに挑みます。</p> <p>開発のためにたくさんのお年寄りの足を観察することで、十河さんは足の左右差に悩む人があることに気付き、次第に誰ひとり取り残さないくつの開発に挑戦するようになります。</p> <p>子どもたちへ、自分とは異なる特徴がある人を理解し、思いやりの心を持って接することの大切さや、誰かのために一生懸命頑張ることの大切さを伝える1冊。(令和5年9月出版)</p>

題 名	専門家と回復者に聞く 学校で教えてくれない本当の依存症
発 行 所	合同出版株式会社
著 者 等	(監修) 松本 俊彦、田中 紀子 (著者) 風間 暁
推 奨 理 由	<p>学校の薬物乱用防止教室では知ることができない、リアルな依存症の話を知ることができる1冊。</p> <p>依存症の家族と過ごし、悩んでいる子どもたちの質問に、専門家や多くの依存症当事者が会話形式で答えていきます。また漫画を交えることで、依存症のケースや依存症当事者の体験などが分かりやすく解説されています。</p> <p>本書を読むことで、依存症とは何か、回復していくとはどういうことかといった、依存症にまつわる正しい情報を身につけるきっかけになります。(令和5年10月出版)</p>

題 名	彼女たちのバックヤード
発 行 所	株式会社講談社
著 者 等	森埜 こみち
推 奨 理 由	<p>秋田育ちの作者が描く、3人の女子中学生を主人公とした、人間関係のすれ違いを描いた友情小説。</p> <p>ある出来事をきっかけに、お互いの思いが交錯し、すれ違ってしまう彼女たち。しかし、それぞれ抱える問題が明らかになっていく中で、お互いを理解しようと心を開きながら、友情を深めていきます。</p> <p>実際に起こりうる「すれ違い」をテーマに、人間関係の在り方や他人を思いやる大切さについて考えさせられる1冊。(令和6年1月出版)</p>